



# ゼロから創る奈良

奈良市長

2017.12.20 Vol.83

仲川げん ニュースレター

書：紫舟

44  
NARA 2021

## TOPIC

## 2020年に向け、景色の変わる奈良市

7月の選挙から半年が経ち、市政にも大きな変化が現れています。まず何より大きいのは新斎苑事業が議会の議決を得ることができた点です。市長選と同時に行われた市議選において議会の会派構成が大きく変わり、前向きに事業を進めていこうという議員が過半数を超えたことが後押しとなっています。9月議会では設計・建設と今後15年間の管理運営を委託する経費が議決、そして12月議会では事業用地を取得する予算が通り、これで平成33年4月の開設が揺るぎないものとなりました。これまでお支え頂いた多くの関係者、特に候補地周辺の住民の皆様や、共に汗をかいた職員にも感謝したいと思います。8年前に市長に就任し初めて臨んだ議会では政治的対立が少なからずあり、なかなか思う通りに物事を進めることが出来ない場面に何度も直面しました。その中で数えきれない程多くの方から激励やご助言を頂いたことで何とか乗り越えることができたと思っています。

私が政治を志した思いの根源は、この街はもっと伸びるはずだという確信です。そしてその潜在能力を十分には発揮できていない現状に対し、心底もったいないという気持ちがありました。今、奈良市を訪れる観光客は1,500万人を超え、海外からも過去最高の150万人のお客様が来訪されます。日帰り型と指摘されていた観光産業も年々消費単価が上がり経済効果も1,000億円を突破。全国に比べ少ないと指摘されていたホテルの客室数もこの10年で1,000室以上の増、さらに現在計画中のホテル建設事業が約10軒も控えている状況。平城遷都1300年祭のような特別な行事がなくてもこれだけの賑わいを見せている様子に、まさに「景色が変わった」と実感しています。雇用面では10月の有効求人倍率が平成の最高値を更新するなど若年人口の定着にも光が見えてきました。来年はより確かな歩みを目指したいと思っています。

市政の動きやマニフェストの進捗状況など、最新情報はツイッター、ブログにて更新中!



@nakagawagen



仲川 げん

### ■ Profile

1976年奈良県生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石(株)及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。入札制度改革や土地開発公社の解散、ごみ行政の刷新など様々な市政改革に取り組む。日本のルーツとして、世界から尊敬される奈良をめざす。三児(7歳・5歳・3歳)と妻、17歳の猫2匹と共に暮らす。中核市市長会前会長。AERA「日本を立て直す100人」に選定。現在三期目。

# 活動報告

[17年7~12月]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信!

## 7月9日(日) 3期目をかけた挑戦、再選へ



熱い夏の戦いを乗り越え、お陰様で3選を果たすことが出来ました。3年後に東京五輪を迎える日本の転換期にあたり、奈良の存在感をしっかりと発揮できるよう頑張ります!

## 8月24日(木) 子ども達の活発な意見交換に脱帽



2期目に制定した「子どもにやさしいまちづくり条例」に基づく子ども会議。参加した子ども達は身近な社会課題を我が事として熱心に議論・提言をしてくれました。

## 9月28日(木) 懸案の新斎苑関連予算が議決



実質的に改選後の初議会となる9月議会では選挙の争点にもなった新斎苑関連予算が可決。60年来の重要課題に解決の目途が立ちました。32年度末の完成予定です。

## 10月4日(水) 里親制度のさらなる普及を啓発



児童虐待をはじめ様々な理由で実親と暮らせない子どもが全国に4万人以上います。奈良市では家庭的な環境で子どもを養育する里親制度の普及に取り組んでいます。

## 11月4日(土) 地域防災力の向上に向けて



済美地区の防災訓練に参加。奈良町を抱える地域ということもあり、日ごろから自主防災活動に熱心に取り組んでおられます。放水訓練はすごい水圧でした。

## 12月15日(金) 官民連携で公園を再生



鴻ノ池運動公園に県内最大のスターバックスが出店。民間活力で公園を再生する取組の一環です。少年刑務所やドリームランドの跡地活用にも波及効果が期待されます。

## 住みやすさに関するランキング指標

ミシュランガイドなどの飲食店の評価本や、ザ・ベストテン(懐かしい!)のような歌番組、さらには相撲の番付表まで、世の中には様々なランキング調査があります。自治体業界でよく知られているのは東洋経済の「住みよさランキング」。これは日本の全791市と東京23区を合わせた814自治体を対象に安心度・利便度・快適度・富裕度・住宅水準充実度を15の指標で評価するもの。実はこの調査にはカラクリがあり、市外通勤者が20%を超える自治体(奈良市は対象外)の場合は、15の指標のうち4指標で就業先(大半が大阪市)の数値が採用される仕組みになっています。例えば利便

度を表す「小売業年間販売額」や「大型小売店店舗面積」では、豊中・枚方・生駒・香芝など複数の自治体が大阪市の数値を適用(補正)されることによって大幅にランクが上がります。これでは東生駒と富雄で買い物の利便性が決定的に違うという理屈になってしまいます。さらには病院や介護施設まで大阪市の値に置き換えられており、客観的な指標としての精度が疑われます。ちなみにこの補正を行わなかった場合、奈良市の関西でのランクは16位から10位に上昇します。今後も一喜一憂せず、しっかりと中身のある分析を行い政策に反映していきたいと思えます。

ボランティア  
募集中!

## 仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1  
FAX:0742-26-0398

## 市政報告会のご案内

日時:2018年1月20日(土) 14時~15時

場所:奈良商工会議所中ホール

なお、報告会終了後、仲川市長を囲んで約1時間茶話会を開催します。  
ぜひこの機会に併せてご参加下さい。(要実費500円)

事前申込は不要です。  
お気軽にお越し下さい。